

## 8. 計画の進行管理

### 8.1 計画推進状況の評価・検証体制

本計画における目標の達成に向けた施策・事業の取組の継続的な実施にあたり、6.3 で示した評価指標及び数値目標に基づき、定期的なモニタリングを実施しながら、施策・事業の実施効果や変化する社会情勢との適合性等を評価・検証し、適切に計画の見直しを行うことが重要である。

評価は、本計画の策定主体である「さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会」において行うこととし、8.3 に示す PDCA サイクルにより評価・検証を実施していく。また、継続的な評価・検証を行うため、8.4 に示す協議会開催スケジュールに基づき実施していくこととする。

なお、本計画における目標の達成に向けては、行政（国、関係地方公共団体）・交通事業者のみならず、地域住民の理解・協力は必要不可欠なものであり、本地域における関係する多様な主体が一体となって取組を進めていくことが重要となる。このことから、本地域における各関係者の役割を整理し、それぞれの役割に基づき主体的に取り組むことで、将来を見据えた持続的な公共交通ネットワークの構築に向け、取組を推進していく。

表 8-1 計画の推進に向けた各関係者の役割及びその内容

| 関係者            | 役割           | 内容   |
|----------------|--------------|--|
| 行政(国、関係地方公共団体) | 施策の検討・実施等    | 地域の交通に対するニーズの実態把握<br>各種公共交通に関する施策の実施<br>資金の調達等 |
| 交通事業者          | 安全な運行の確保等    | 公共交通の安全な運行<br>利用者数等のデータ提供等                     |
| 地域住民           | 公共交通の積極的な活用等 | 公共交通の積極的な利用等                                   |

## 8.2 目標達成状況のモニタリング方法

本計画における目標達成状況のモニタリング方法として、6.3 で設定した評価指標の測定方法を以下に示す。評価指標の測定は、毎年度実施し、計画期間における目標の達成状況を継続的にモニタリングする。

表 8-2 評価指標の測定方法

| 評価指標 |                       | 測定方法  |
|------|-----------------------|---|
| 指標①  | 公的資金が投入されている広域交通の利用者数 | 広域交通の運行事業者からの提供データによる確認                     |
| 指標②  | 公的資金が投入されている広域交通の収支率  |   |
| 指標③  | 広域交通への公的資金投入額         |   |
| 指標④  | 都市間を結ぶ広域交通のネットワーク数    | 本計画において「広域交通の維持・確保の方針」を設定した都市間を結ぶ公共交通の運行の有無 |

## 8.3 評価結果を踏まえた計画の見直し

本計画（Plan）の推進にあたり、毎年度、施策・事業を実施（Do）しながら、目標の達成状況（数値指標）を評価（Check）し、必要に応じて、施策・事業の見直し（Action）を検討する。施策・事業の見直し結果を踏まえて、必要に応じて計画を改定するとともに、施策・事業の予定に反映し（Plan）、着実に施策・事業を実施（Do）していく。

上記のPDCA サイクルにより計画を推進しながら、計画期間の最終年には、5カ年の計画期間全体を対象とした総括的検証を行うこととする。

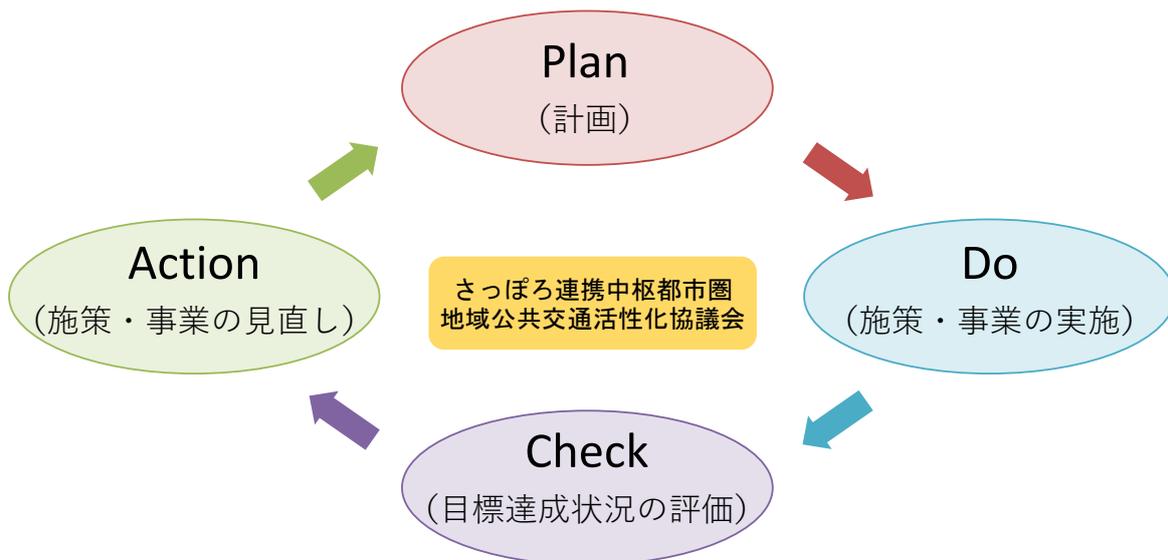


図 8-1 PDCA サイクルによる評価・検証のイメージ

## 8.4 今後の協議会の開催スケジュール（案）

適切かつ継続的な施策の実施に向け、8.3 による PDCA サイクルを行いながら計画を推進していくため、以下のスケジュールにより「さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会」を開催していく。

なお、毎年 of 施策の評価・検証結果により、施策（評価指標）の改善や見直しが必要となった場合等については、以下のスケジュールによらず随時協議会を開催するなど、状況に応じて柔軟に協議を実施していく。

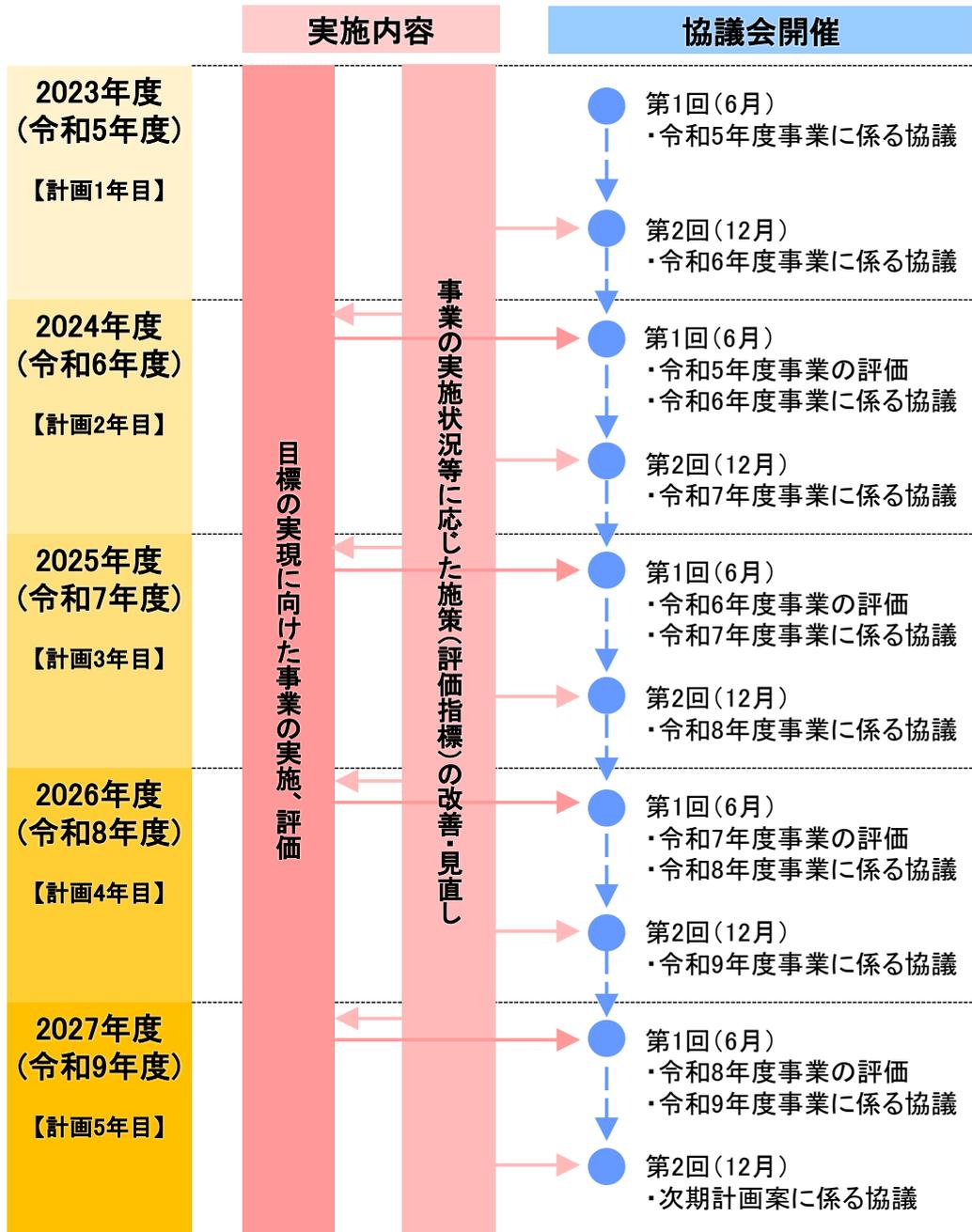


図 8-2 協議会の開催スケジュール（案）